

横芝光町で自動運転バスを活用した 実証調査走行を開始します！

企画空港課デジタル推進室 ☎(84)1279

先端技術の自動運転バス導入走行により
「すべての世代が暮らしやすいと思える魅力的なまち」へ
～デジタル田園都市国家戦略に基づきスマートシティ実現に取り組む～

自動運転モビリティ事業の実用化
「自動運転レベル4」実装を目指す

- ▶ 自動運転バスの社会実装へ向けた体制構築
- ▶ 新たなデジタル事業の模索
 - ・マイナンバーカードの活用
 - ・生体認証システムの導入 等



- 課題
- 高齢化の進行
 - 若年世代の流出
 - ドライバー不足（2024年問題）

2023 年度



自動運転技術を活用した
新しい移動サービスの実現を見据えた
実証実験・調査事業

様々な移動需要に対応できる持続可能な移動サービスの推進

2024年3月以降 実証運行の継続

- ▶ 運行可能な走行ルートの拡大
- ▶ 自動運転システムの機能向上
- ▶ 利便性と利用率の向上（新たな活用企画 等）

「自動運転レベル2」による走行

- ▶ 自動運転走行時も車内オペレーターが常時監視
- ▶ 遠隔運行監視センターでの常時監視
- ▶ 緊急事態発生時の体制整備
- ▶ 地域住民への利便性やサービス向上の調査など

走行ルート



若年世代流出と高齢化が進んでいる
一方で、2029年の第3滑走路供
用開始予定を含む成田国際空港の機能
強化や圏央道・銚子連絡道の整備は人
モノの動きに大きく影響を与える見込
みです。

町では空港関係就業者の若年世代の
定住先に選ばれるために、新たな都市
構造への転換を目指して居住地形成戦
略・産業振興戦略・交通網形成戦略を
進めています。

本事業は各種計画戦略の促進と高齢
化による移動需要の変化、ドライバー
不足などの2024年問題に対応する
公共交通課題解決に資する事業とし
て、国の補助金を活用して自動運転バ
ス1台を導入し、公道での実証走行を
開始します。

○調査請負受注者 BOLDLY(ボ
ドリー)株式会社